



# 2023年3月期第2四半期 決算説明会

セレンディップ・ホールディングス株式会社 | 証券コード：7318



# Table of Contents

- 1.会社及び事業概要
- 2.第2四半期実績
- 3.業績進捗率
- 4.セグメント別見通し
- 5.セレンディップ・フィナンシャル  
サービスによる三河鉱産への投資  
実行について
- 6.アペックスの連結子会社化につ  
いて
- 7.Q&A



# 会社及び事業概要

## Company and Business overview

—  
*we can create  
a better world*





## Our Mission

# 100年企業の創造

**日本の中堅・中小製造業に経営革新をもたらし、中小企業の未来を創る**

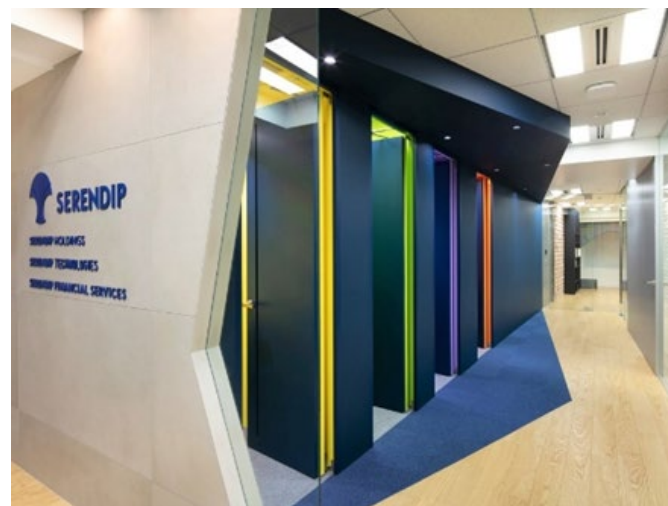
---

私たちセレンディップ・グループは、モノづくり企業に特化した事業投資会社として、「経営の近代化」と「地方創生」を積極的に推進します

# 会社概要

- 社名** : セレンディップ・ホールディングス株式会社  
SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd.
- 本社所在地** : 愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号
- 設立** : 2006年8月
- 資本金** : 1,114,030千円 (2022年3月末現在)
- 従業員数** : 単体 34名\*1 (2022年9月末現在)  
グループ全体 517名 (2022年9月末現在)
- 役員構成** : 代表取締役会長 高村 徳康  
代表取締役社長 竹内 在

\*1 直接雇用の従業員数



# 事業セグメント別 セレンディップ・グループ企業一覧

成長するモノづくり企業とそれを支えるプロフェッショナルをグループ化

## セグメント

インベストメント  
売上高\*1 6,890万円  
従業員数\*1 6名\*2



セレンディップ・フィナンシャル  
サービス  
(投資・FA業務)

モノづくり  
売上高\*1 129.8億円  
従業員数\*1 398名



天電精機  
(FA装置製造)



佐藤工業  
(オートマ機能部品製造)



三井屋工業  
(自動車内外装部品)

プロフェッショナル・  
ソリューション  
売上高\*1 11.8億円  
従業員数\*1 96名



セレンディップ・ホールディングス  
(コンサルティング (経営、現場  
改善、DX))



セレンディップ・テクノロジーズ  
(設計・開発のエンジニア派遣、  
ソフトウェア設計・開発・  
販売・保守)

\*1 2022年3月末時点 \*2 セレンディップ・ホールディングスより出向

# 第2四半期実績 Financial Results

—  
*we can create  
a better world*



# 2023年3月期第2四半期連結業績サマリ

売上高：主要顧客である自動車メーカーの減産の影響を受けたが、FA製造装置とコンサルティングが好調で、概ね前年同期並みで着地

営業利益：製造現場において幅広くITを活用し、ムダ・ムリ・ムラを排除することにより増益

売上高

6,727百万円

前年同期比 +1.2%

営業利益

38百万円

前年同期比 +3.5%

経常利益

2.6百万円

前年同期比  $\Delta$ 58.1%

親会社株主に  
帰属する  
当期

純利益

34百万円

前年同期比 +163.5%



# 2023年3月期 第2四半期連結業績サマリ (セグメント別)

売上高

セグメント利益

モノづくり事業

6,308百万円

対前年同期 +55百万円

前年同期比 +0.9%

98百万円

対前年同期 +7百万円

前年同期比 +8.0%

プロフェッショナル・  
ソリューション事業

601百万円

対前年同期 +10百万円

前年同期比 +1.9%

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

△26百万円

対前年同期 △5百万円

前年同期比 -%

インベストメント  
事業

20百万円

対前年同期 +3百万円

前年同期比 +23.8%

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

△33百万円

対前年同期 △0百万円

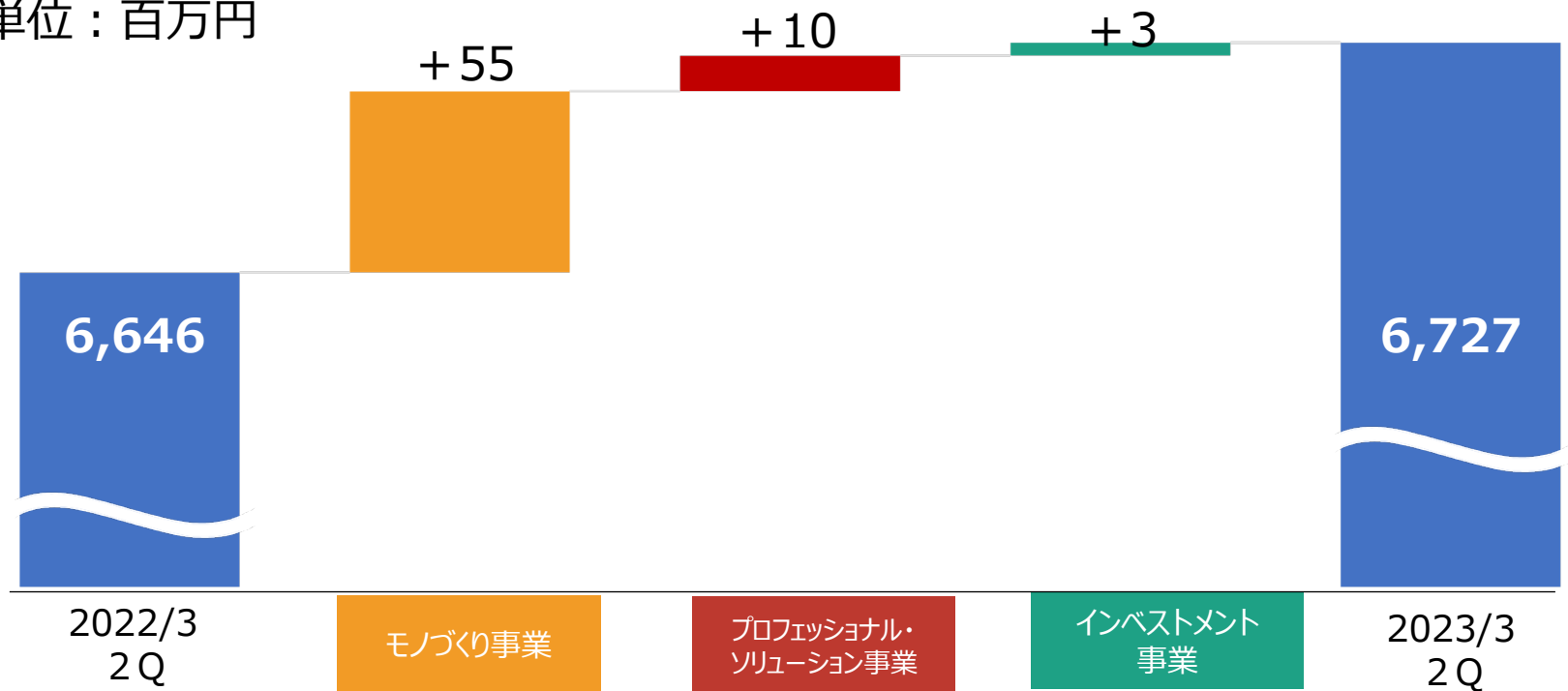
前年同期比 -%

# 2023年3月期 第2四半期連結売上高増減分析

モノづくり事業：自動車メーカーの減産の影響を受け自動車部品製造が減収となったが、FA製造装置の受注が回復基調のため増収

プロフェッショナル・ソリューション事業、インベストメント事業：概ね前年同期並みで着地

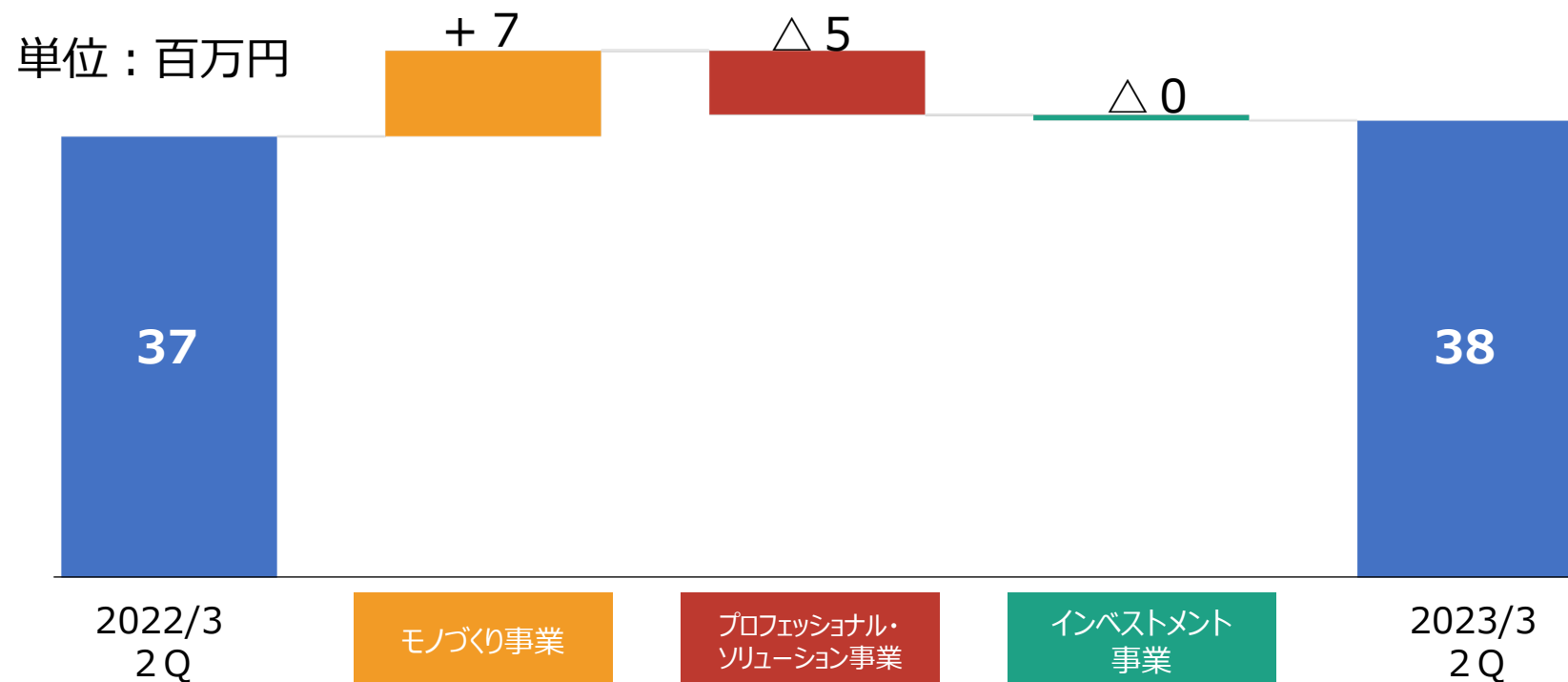
単位：百万円



# 2023年3月期 第2四半期連結営業利益増減分析

モノづくり事業：FA製造装置が好調で増益

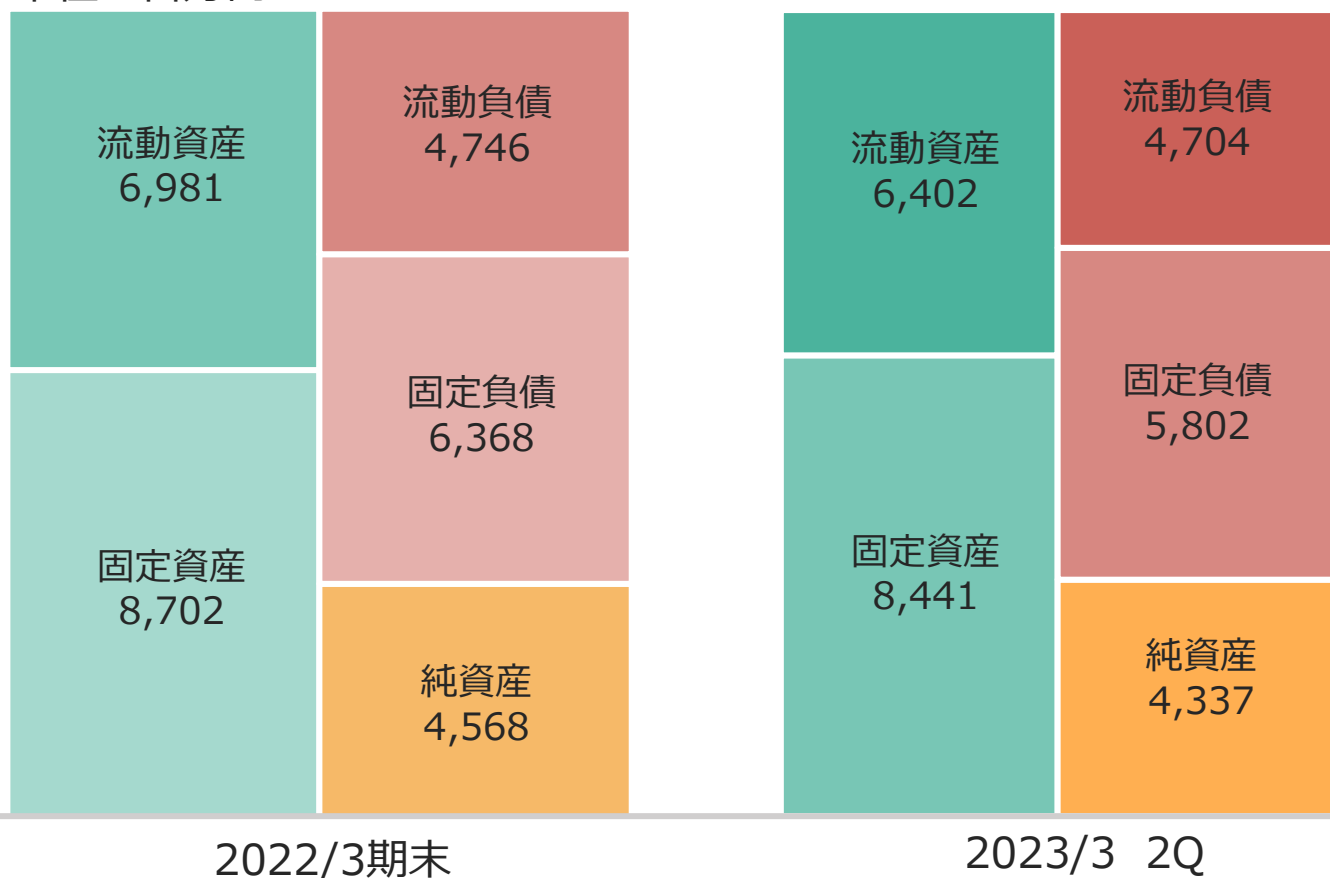
プロフェッショナル・ソリューション事業：コンサルティングの採用強化と本社オフィス移転により減益



## 連結貸借対照表サマリ

- 自己資本比率は、前期末と同水準
- 2022年5月12日開催の取締役会で決定した自己株式取得は56.1%まで進捗

単位：百万円



自己資本比率

28.6%

前期末比+0.1pt

2022年9月末までに  
取得した自己株式

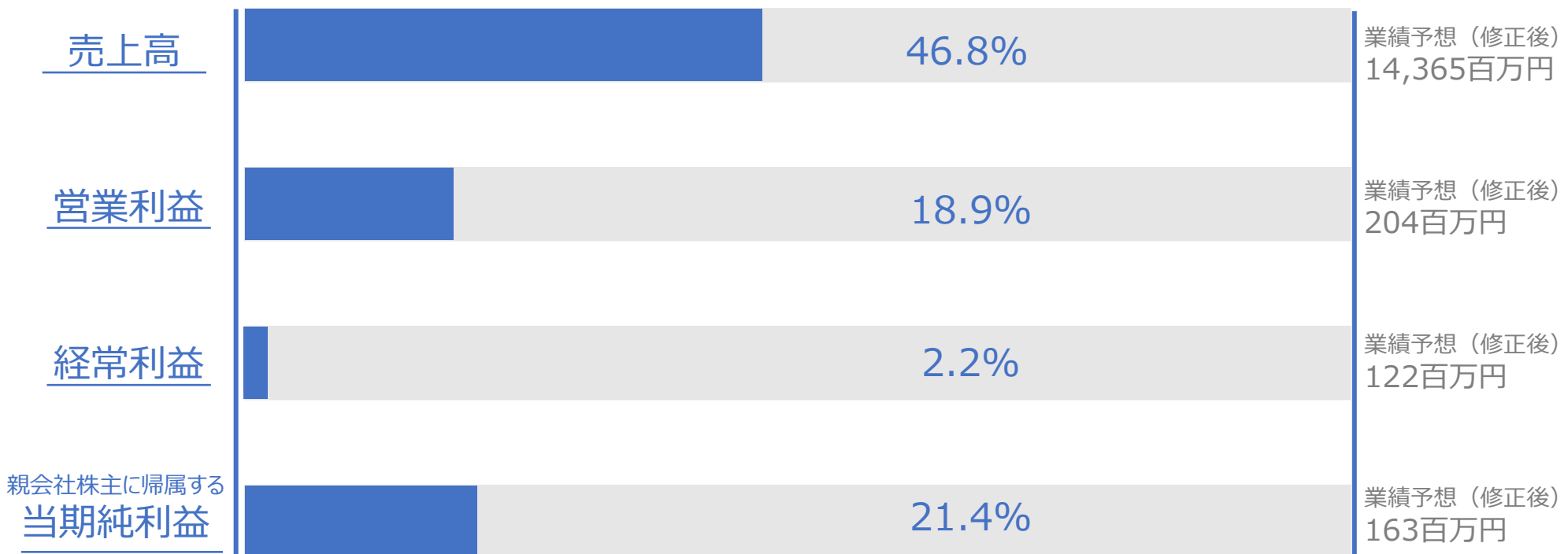
7.30万株 (進捗率56.1%)  
0.53億円 (進捗率53.2%)

■ 参考 10月末時点  
8.89万株 (進捗率68.3%)  
0.64億円 (進捗率64.7%)

## 通期連結業績予想（修正後）に対する進捗率

売上高：「モノづくり事業」において、主要顧客である自動車メーカーの国内生産計画台数に基づく売上高と売上高実績に20%以上の乖離（下振れ）が生じており、当該状況が期末まで継続する可能性があると考え下方修正

営業利益・経常利益・当期純利益：人件費等をコントロールするも、売上高減少に伴い下方修正



# セグメント別業績見通し Earnings Forecast by Segment

—  
*we can create  
a better world*



# セグメント全体像

## ① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

## ② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

## ③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

# セグメント全体像

## ① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

## ② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

## ③ インベストメント事業

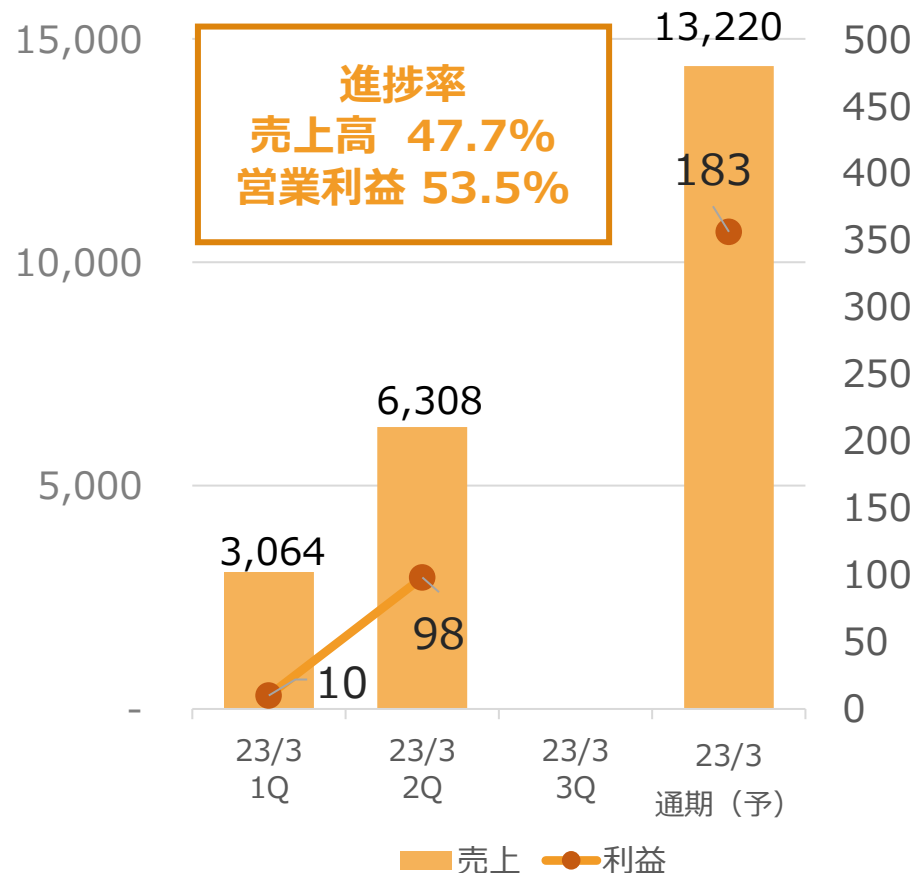
- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）



# モノづくり事業の業績予想

## モノづくり事業の目標とする「売上高・営業利益」の推移

単位：百万円



### 3Q以降の見通し

#### 売上高

- 自動車部品製造は、国内自動車メーカーの稼働率低下が継続する見込み
- FA製造装置は、車載向け・半導体向けが好調。引き続き積極的に新規顧客開拓を実施

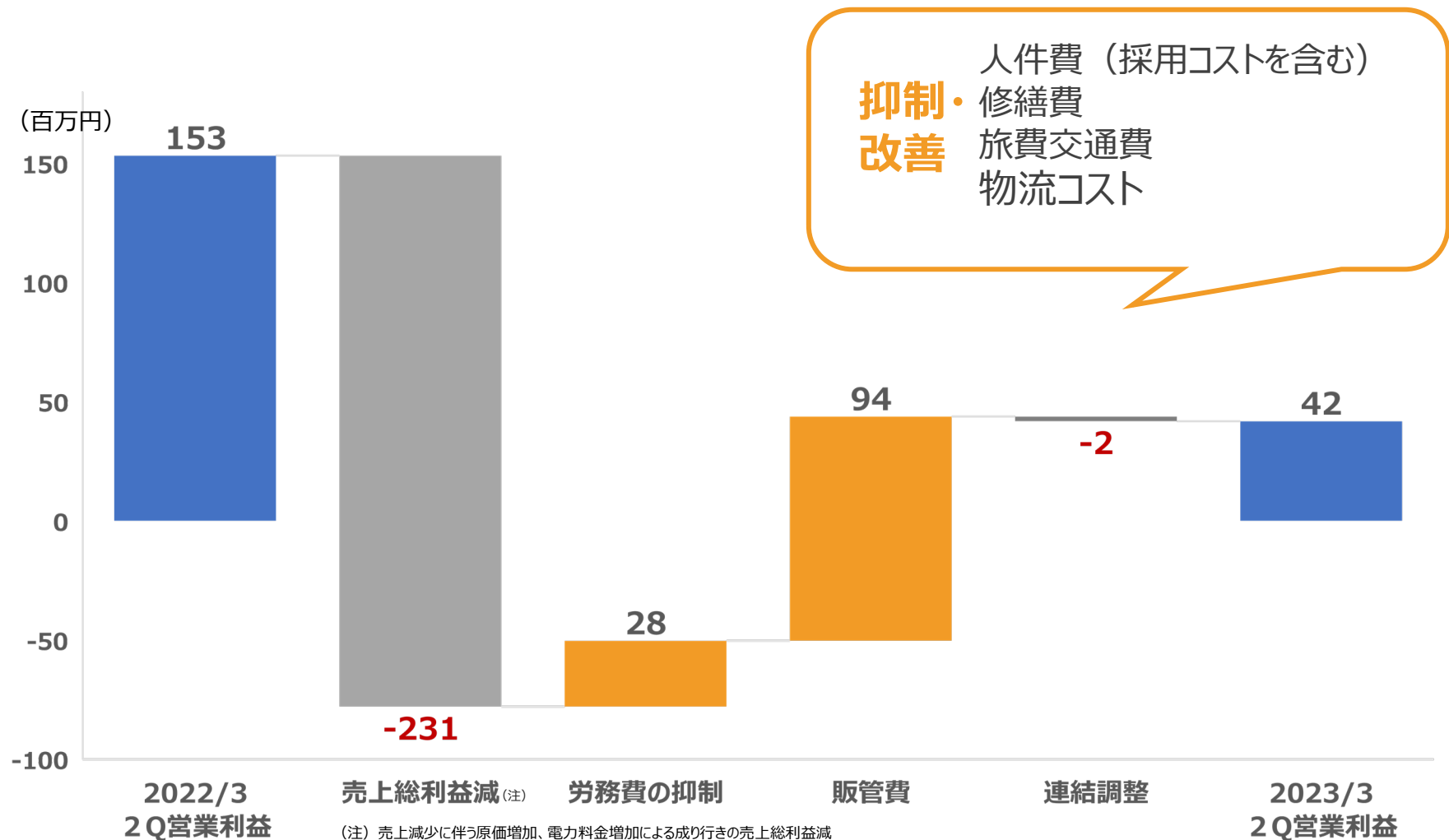
#### 営業利益

- 生産体制のダウンサイジング化に着手。急な増産に備えて確保する人材を縮小し、社内の応援で対応
- ミドルオフィスおよびバックオフィスの要員再配置
- 外注品の一部を内製化し、既存設備の稼働率を向上
- 業務の省人化・スマート化を推進
- 労務費・販管費の抑制・改善を強化

(注) 「セグメント情報」のセグメント売上高・セグメント利益の数値を基に記載しております。

# モノづくり事業 オートモーティブ営業利益増減分析

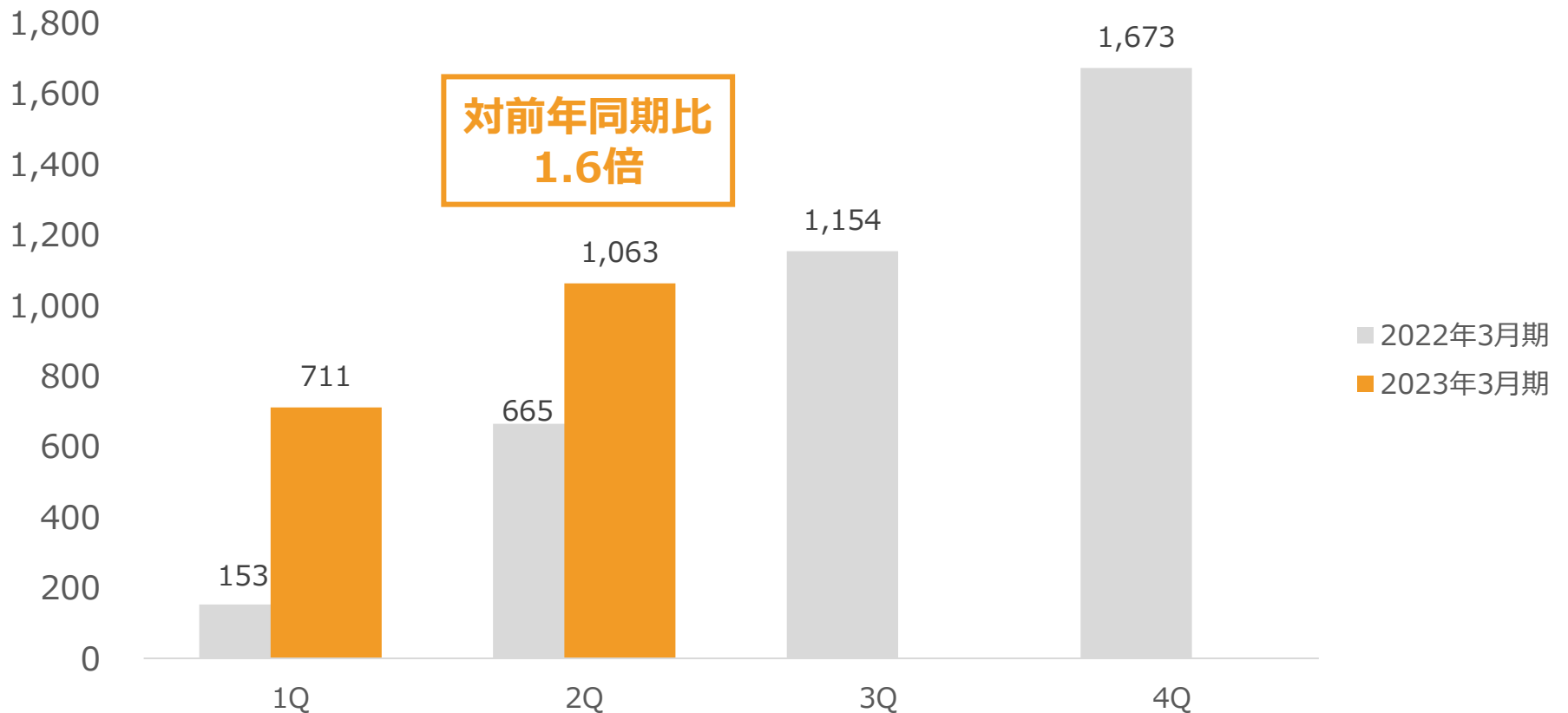
- 売上高は減少したものの、労務費・販管費の抑制・改善により利益を確保



## モノづくり事業 FA製造装置の受注高累計の推移

- 車載用コネクタへの自動車メーカー投資が回復基調であること、大手半導体検査機メーカー向けの付帯設備（マテハン）の新規受注があったことなどから、天竜精機のFA関連製造装置の受注は好調
- 車載用コネクタ、半導体の上昇トレンドは当面続く見込み

単位：百万円



# セグメント全体像

## ① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

## ② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

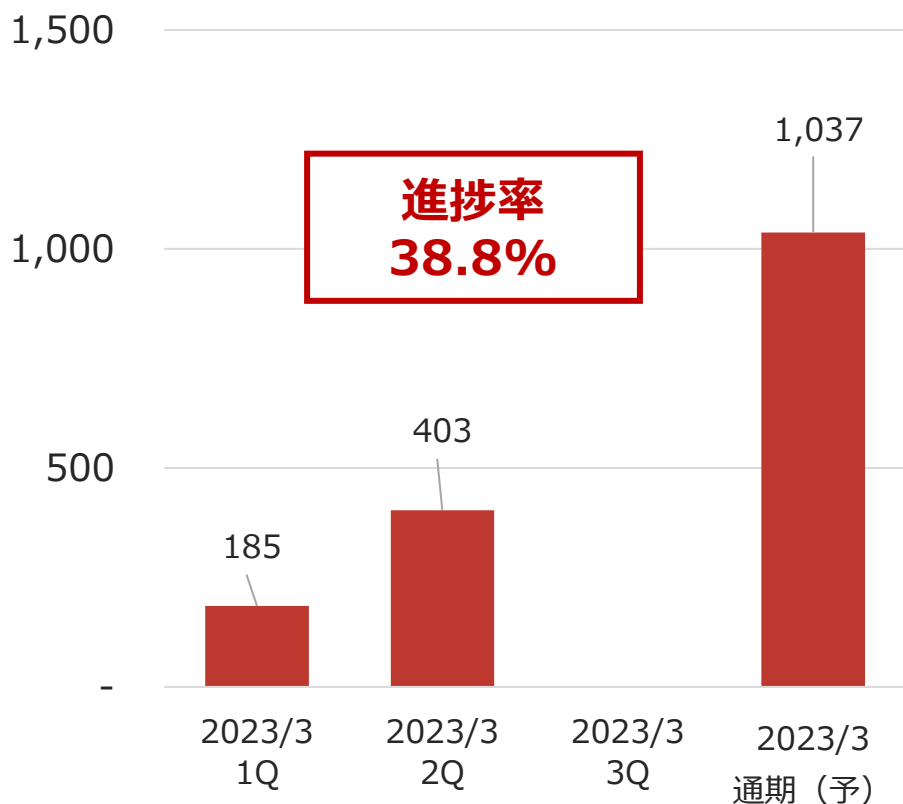
## ③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

# プロフェッショナル・ソリューション事業の業績予想

## プロフェッショナル・ソリューション事業の目標とする「外部顧客への売上高」の推移

単位：百万円



### 3Q以降の見通し

#### プロ経営者派遣、コンサルティング

- 既存プロジェクトに加え、IT案件の引き合いが旺盛で受注増加
- 22年8月にリリースした協働ロボット支援サービスに対する旺盛な引き合いに対応
- 22年10月にリリースした製造現場DX支援ツール「HiConnex」の拡販
- 22年11月にセレンディップ・フィナンシャルサービスが投資実行した「三河鉱産」への経営支援

#### エンジニア派遣、ソフトウェア開発

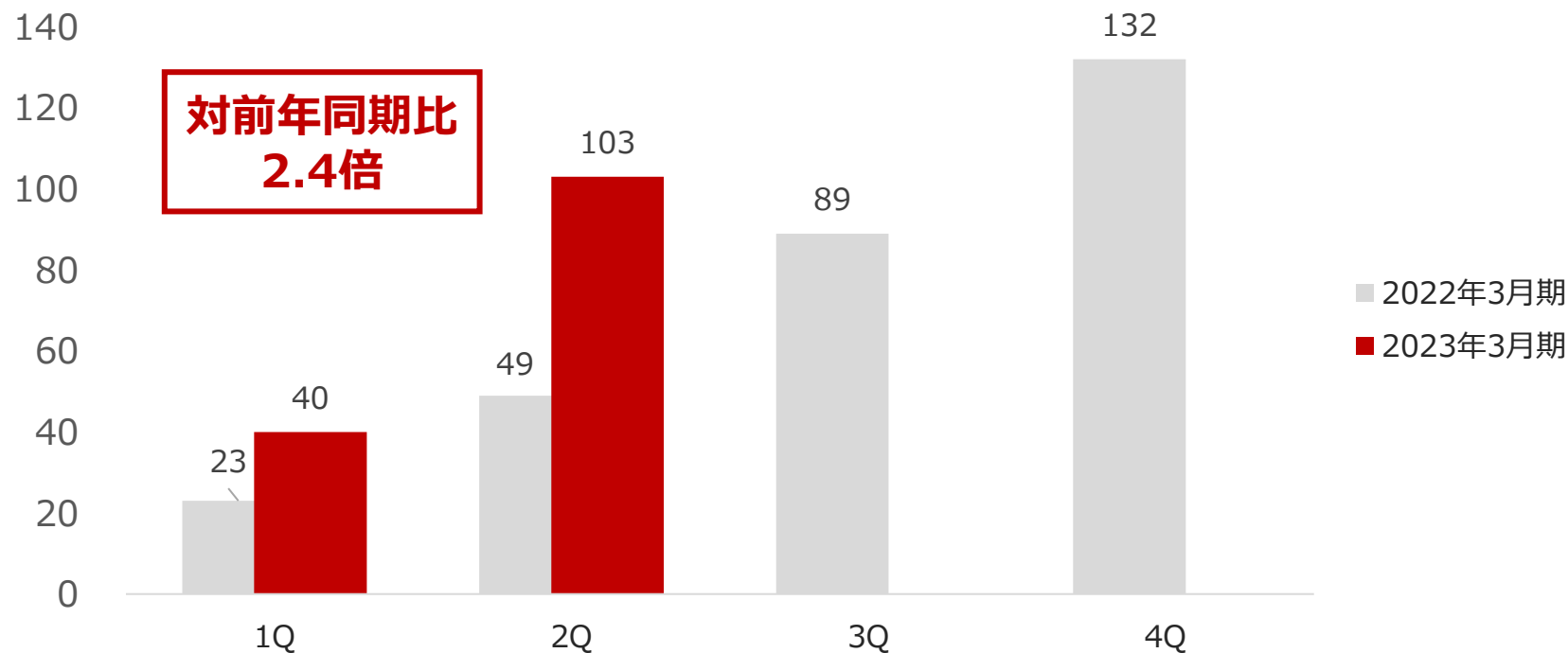
- IT人材の需要は旺盛だが、エンジニア採用競争激化
- 単価アップに向けて、リスクリング強化

(注) 「セグメント情報」の「外部顧客への売上高」数値を基に記載しております。

## コンサルティング事業の売上推移

- 旺盛な顧客ニーズを背景にコンサルティング事業の売上は順調に増加、前年同期比約2.4倍
- IT案件を中心とする新規引き合いに対応するべく採用活動を強化
- HiConnexやロボット導入支援などの展開によって、新たな収益モデルを構築

単位：百万円



コンサルタント人数	1Q 22/6月末時点	2Q 22/9月末時点	3Q 22/12月末時点	4Q 23/3月末時点
22年3月期	4名	6名	7名	7名
23年3月期	12名	11名	13名予定	16名予定

# セグメント全体像

## ① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

## ② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

## ③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

# インベストメント事業の業績見通し

## インベストメントセグメント事業の目標とするFA・投資実行の成約に向けた活動

### パイプライン強化の成果

紹介

投資検討案件数は  
2022年3月末時点から**倍増**

営業・提案

営業要員を増員（**4名→7名**）  
してアプローチ

FA・投資実行

22年11月8日  
**三河鉱産株式会社  
への投資実行**

### 3Q以降の見通し

#### フィナンシャルアドバイザー（FA）・投資

- 前期までに締結した複数地方銀行とのアライアンスを起点にした案件創出機会が増加し、質も向上傾向
- 確度が低いものも含め、投資検討案件を2022年3月末時点と比較して倍以上まで積み上げ
- 営業要員の増加により、成約に向けた活動を活発化

地域アライアンスにもとづく  
初の投資案件が実現



# 投資戦略強化：投資ポートフォリオの強化

セレンディップにおける投資戦略の根幹

- 製造業：国際競争力が高く、サプライチェーンが強固な分野
- サービス業：モノづくり企業を間接的に強化するサービス提供会社

## セレンディップ・グループ 投資ポートフォリオ

### モノづくり事業

安定事業

成長事業

### 事業承継 プラットフォーム

テーマ

既存投資分野の拡大

高成長・高収益分野  
への参入

BtoBサービスの拡充

注力  
分野

**1.自動車メーカー横断**  
電動パワートレイン、センサー、内装・外装  
など  
**2.モノづくりにおける新たな柱の確立**  
医療機器、建設機など

**1.スマート工場**  
省人化・自動化、ロボットなど  
**2.新技術**  
環境・省エネ、光・電子、新  
素材など

**1.DX、シェアード**  
IoT、AI、業務アプリケーション、  
コンサルティングなど  
**2.CxO派遣・育成**  
人材サービスなど

投資  
比率

70%

20%

10%

### モノづくり事業 安定事業の成長

#### 現場改革・技術革新を実行

- 三井屋工業は、東北スマートファクトリー拠点とし、新規顧客への参入を目指す
- 天竜精機は、2023年度より、ベトナム（ハノイ）での海外生産をスタートすべく準備中
- 佐藤工業は、バスバーを初め、EV向け製品の開発・販売を開始

### モノづくり事業 成長事業への投資

#### 新市場への挑戦

- 非連続的な成長に向けたアペックス社（付加価値の高い自動車部品を中心とする研究開発試作）のM&A実行

### 事業承継プラットフォーム 成長分野への投資

#### モノづくり事業のさらなる発展に向けた基盤づくり

- コンサルティング事業（IT、協働ロボット、製造現場DX支援ツール「HiConnex」の拡販 など）強化に向けたリソースの集中投下

# 当社子会社 セレンディップ・フィナンシャルサービスによる 三河鉱産への投資実行について

*we can create  
a better world*



## 三河鋳産株式会社の概要

- 自動車業界向けの鑄造用副資材（塗型剤）の製造及び販売で新製品開発が強み
- 顧客密着による営業部門の情報収集力と研究所の開発力、製造部門の品質実現力の連携がある一方で、クロスセルやグローバル展開など、戦略的な営業が課題

### 基本情報

◆会社名	三河鋳産株式会社
◆設立	1948年5月
◆資本金	84.5百万円
◆代表者	代表取締役社長 小川 芳孝（2022年11月7日就任 三菱商事株式会社出身）
◆従業員数	44名（2022年11月時点）
◆事業内容	1. 鑄造用副資材（塗型剤）の製造及び販売（商社機能と製造機能） 2. 鑄造用機械設備の保全メンテナンス
◆売上高	3,811百万円（2021年12月期）
◆拠点	【本社】愛知県碧南市田尻町4丁目29番地 【研究所】愛知県碧南市明石町7丁目9番地 【衣浦工場】愛知県碧南市須磨町2番地13 【高浜工場】愛知県高浜市田戸町4丁目6番地14

# 三河鋳産のもつ国内市場での優位性とグローバル市場での成長余地に着目

- 国内の優良な顧客基盤を活用したクロスセルなど戦略的営業による成長余地がある
- グローバル市場では鋳物生産量は伸長しており、中国など海外への展開余地がある

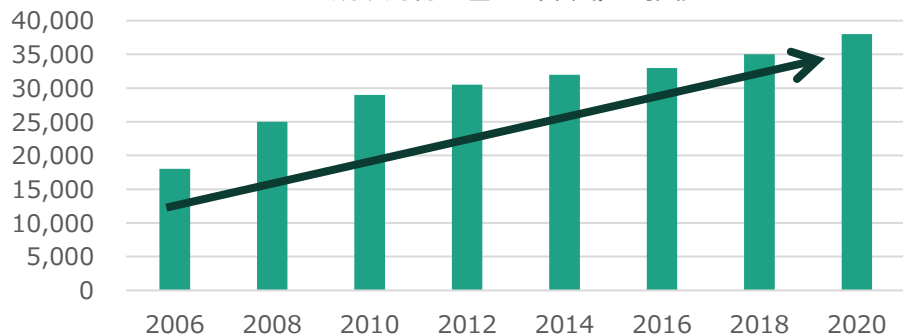
## 国内市場での優位性

- 当社が製造する塗型剤はニッチな市場であり、競合他社も限られており競争環境は激しくない
- 国内自動車メーカーや大手自動車部品メーカーなど優良な顧客との長期に渡る取引関係を維持している
- 自動車関連企業のみならず、大手の産業機械やその他機械（農機・建機）メーカーへの顧客開拓が進展している

## グローバル市場の成長性

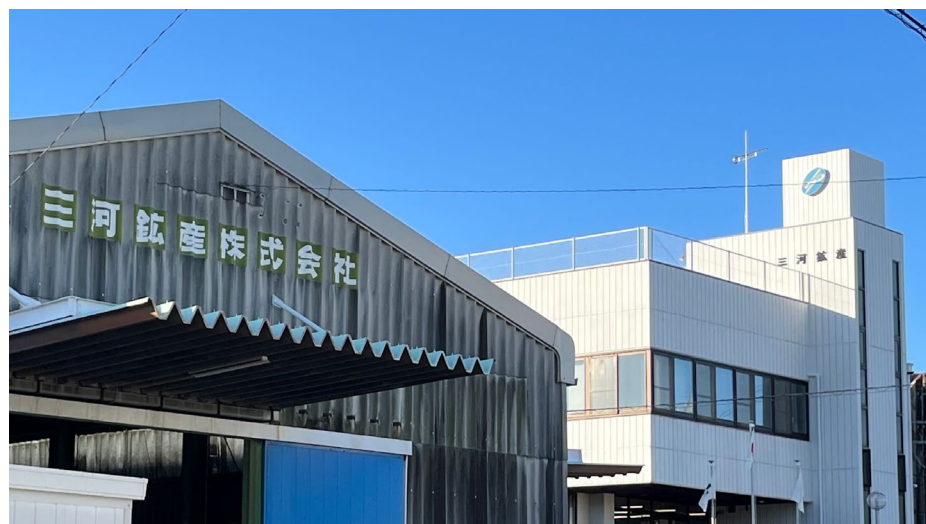
- 中国での鋳物生産量は伸長しており、自動車分野などでの鋳物の生産量拡大に伴い、さらなる塗型剤のニーズ拡大が期待される

鋳鉄鋳物生産量（中国）の推移



■ 鋳鉄鋳物生産量の推移（千トン）

一般社団法人「日本鋳造協会」鋳造ジャーナル資料より作成



三河鋳産(株)本社 愛知県碧南市

## 三河鉱産への投資スキーム

- 当社が進めてきた地域アライアンスにもとづく初の共同投資案件
- グローバルな視点・経験を持った経営人材（三菱商事出身）を社長として派遣
- 戦力的な営業力を持った当社人材を派遣

### 三河鉱産への投資スキーム

#### 投資スキーム

#### 投資資金調達

2021年10月に締結した地域アライアンスに基づく、名古屋銀行・名古屋キャピタルパートナーズとの初の共同投資

#### 投資後マネジメント (バリューアップ)

- 戦略的営業・グローバル展開の強化を目的にプロ経営者を派遣
- グローバルな視点・経験をもった経営人材（三菱商事出身）を社長として招聘
  - セレンディップ・ホールディングスからマーケティング専門の経営人材を派遣し、社長をサポート

# 当社による アペックスの連結子会社化について

—  
*we can create  
a better world*



## 株式会社アペックスの概要

### アペックスは幅広い技術力を基に自動車部品を中心とする研究開発試作に強みを持つ

- 1975年4月設立。家電向けデザインモデル事業をスタート。
- 創業より試作品製造に特化した企業として 家電機器/OA機器/自動車部品/医療機器/アミューズメント機器等、多くの業界においてデザイン・ワーキングモデルを数多く手掛けてきた。
- 近年では 光学設計/電子制御/GUIデザイン の技術を取り入れて精巧かつ先進であることが求められる自動車部品を中心とするメカトロニクス製品の研究開発/商品開発を支援。

基本情報	
◆会社名	株式会社アペックス
◆設立	1975年4月
◆資本金	100百万円
◆代表者	代表取締役社長 景山 敏行
◆従業員数	84名（2022年10月末時点）
◆事業内容	1. 開発段階における試作受託 2. デザインモックアップ / 試作品 / 3Dモデリング / 機構設計 / 光学設計 / GUI・HMI開発サポート / GUIシミュレーター / マルチメディア制作 / 映像制作 / 電子基板 / 電子制御 / MC加工 / 3Dプリンター（ABS造形、光造形） / 二次処理 / 試作金型 / 注型
◆売上高	1,447百万円（2022年3月期）
◆拠点	東京都八王子市宇津木町 523番地1



# セレンディップの投資戦略

## アペックスの完全子会社化は成長事業への投資に位置づけ

- アペックスは、自動車業界等において成長分野である領域で高い付加価値を有していることから当社の投資ポートフォリオ上の成長事業への投資として位置付けている。

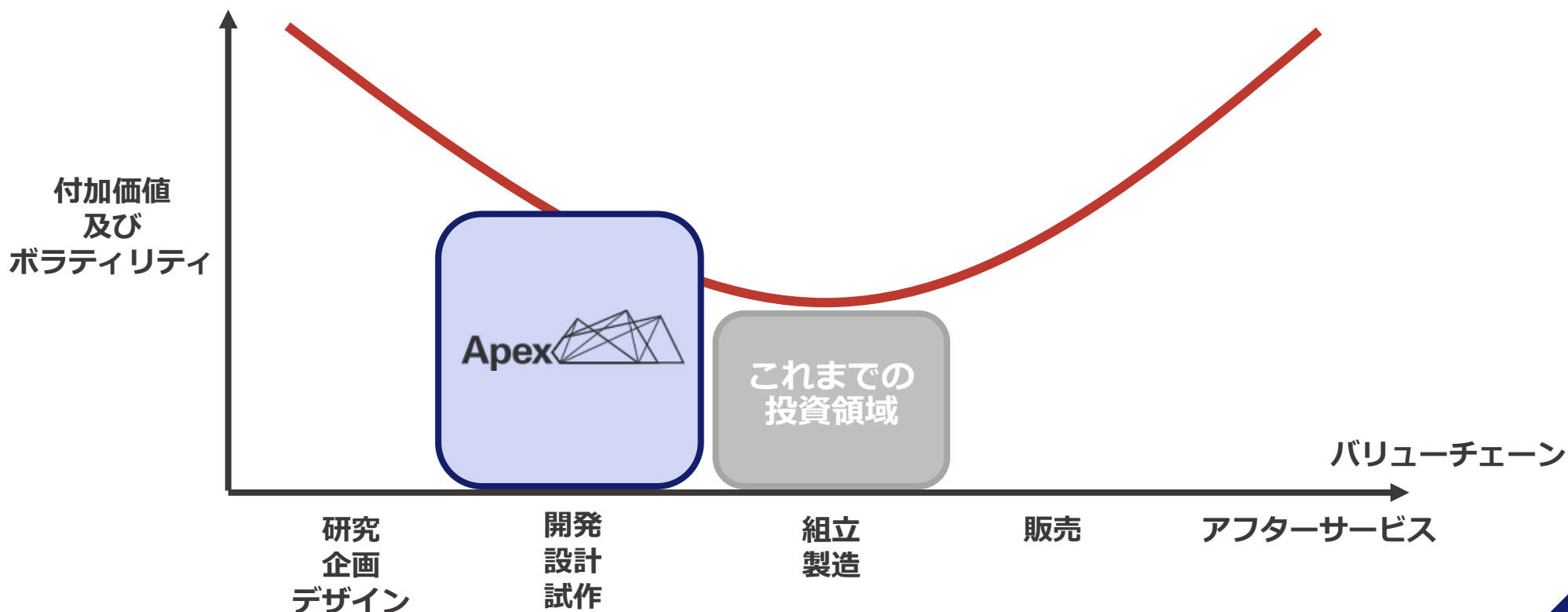
### セレンディップ・グループ 投資ポートフォリオ

	モノづくり事業		事業承継プラットフォーム
	安定事業	成長事業	
テーマ	既存投資分野の拡大	高成長・高収益分野への参入	BtoBサービスの拡充
注力分野	1.自動車メーカー横断 電動パワートレイン、センサー、内装・外装など 2.モノづくりにおける新たな柱の確立 医療機器、建設機など	1.スマート工場 省人化・自動化、ロボットなど 2.新技術 環境・省エネ、光・電子、新素材など	1.DX、シェアード IoT、AI、業務アプリケーション、コンサルティングなど 2.CxO派遣・育成 人材サービスなど
投資比率	70%	20%	10%

## バリューチェーン上の付加価値が高い領域への投資

- これまでは、付加価値は相対的に低いものの事業の安定性が高い（ボラティリティが低い）企業への投資を行い、安定した事業基盤を構築
- 今回のアペックスの完全子会社化は、バリューチェーン上の付加価値の高い領域への投資

### 自動車業界のスマイルカーブ



## アペックスの子会社化で期待できるグループシナジー

### アペックスの完全子会社化によりそれぞれの強みを生かした相互成長が可能

- グループ会社及びアペックスが持つ強みが相互に機能し更なる成長が見込める
- 加えて、ホールディングスが持つインフラの提供により安定した経営基盤を構築

#### セレンディップ・ホールディングス

- ① 経営インフラの提供
- ② バックオフィス業務の効率化
- ③ グループ財務機能

#### 三井屋工業／佐藤工業

- ① 顧客との強固な関係性

#### アペックス

- ① 幅広い技術力
- ② デザイン
- ③ トрендとなる技術・材料のキャッチアップ
- ④ 提案力

#### セレンディップ・テクノロジーズ

- ① 技術者派遣
- ② アプリケーション開発

# グループシナジーの先行例 – HiConnexの開発 –

## HiConnexの開発においてグループシナジーが有効に発揮できることを実証

- 2022年10月にリリースした製造現場DX支援ツール「HiConnex」はグループ会社及びアペックスで協業し開発
- アペックスの子会社化により、セレンディップグループシナジーである「グループ会社の製造現場の課題を解決し、かつ、そのノウハウを収益化に繋げるビジネスモデル」を今後も加速化させる

現場のコミュニケーションが変わる！ HiConnex

かんたん操作  
生産実績管理ソリューション 簡単 早く 安く

### HiConnex

ハイコネックス

- 作業データ収集・活用
- 短期間での導入可能
- 導入コストを抑える

● かんばん対応 ● 1ライセンスあたり月額1万円（※別途初期費用必要）

コスト削減効果が  
目で見てわかる！

タブレットだから  
サクッと

- 入力
- 記録
- 集計
- 分析

現場のみんなが喜ぶ効果！

### 1年で不良率を 40%改善

HiConnex 導入効果

※ 当社計測データより

SERENDIP HOLDINGS

企画・販売

セレンディップ・ホールディングス

PoC

三井屋工業

デザイン

アペックス

アプリ開発

セレンディップ・  
テクノロジーズ

# 自動車業界のトレンドの変化

## 自動車業界の技術トレンドの変化に伴いアペックスの技術力及び知見が高い付加価値に

- 自動運転における顧客価値の変化により自動車部品の事業環境に変化が生じている
- 「高価値空間の提供」という自動車のバリュー領域において、アペックスの事業領域であるメカトロニクス製品の技術及び知見が強みとなってくる

### 自動運転に伴う車両部品構成の変化



※ 赤囲みはアペックスに影響を及ぼす項目

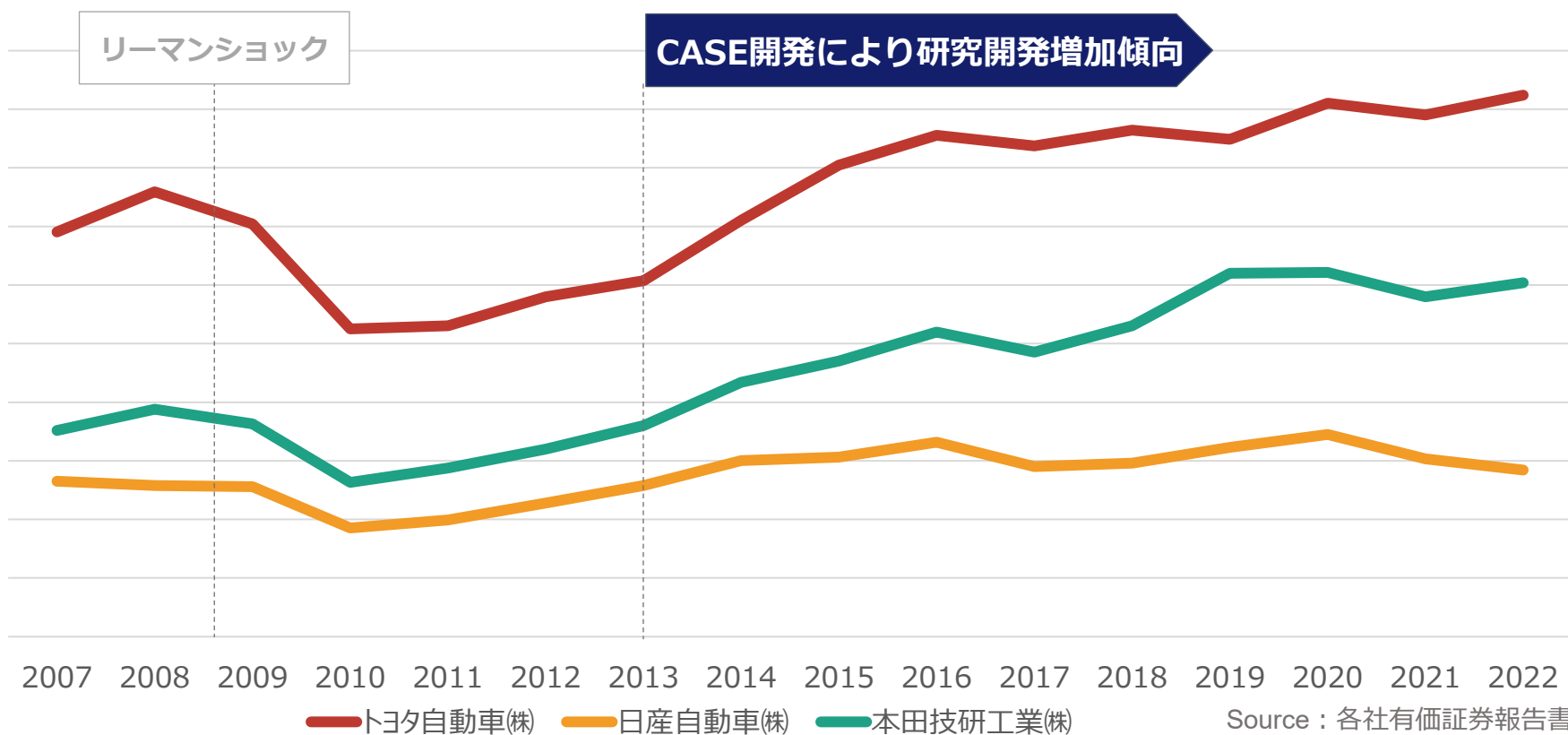
Source : 経済産業省『自動車部品産業の変遷に関する調査』を基に一部加工

# 自動車研究開発費市場

## 直近10年間で各社平均3%を超える増加率

- リーマンショック後、各社研究開発費を大幅に削減したものの、市場投入車種減少による収益悪化に加えて、CASE開発の必要性から研究開発費を増加。直近10年間でほぼ右肩上がり推移している

### 主要自動車メーカーの研究開発費推移



# セレンディップ プロ経営者派遣について

セレンディップホールディングスから各社に「プロ経営者」と「CFO」を派遣し、常駐することで、現場の見える化、組織体制の再構築、改善計画の立案及び実行支援を推し進める

## セレンディップグループ



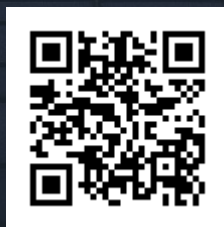
社名	天竜精機(株)	佐藤工業(株)	三井屋工業(株)	セレンディップ・テクノロジー(株)	(株)アペックス	三河鋳産 (株)
所在	長野県駒ヶ根市	愛知県あま市	愛知県豊田市	愛知県名古屋市	東京都八王子市	愛知県碧南市
事業概要	自動化装置製造	オートマチック部品 自動車精密部品製造	自動車内外装品製造	設計・開発の 技術者派遣	開発段階における 試作受託	鋳造用副資材の製造 及び販売
投資実行	セレンディップ・ホールディングス	セレンディップ・ホールディングス	セレンディップ・ホールディングス	セレンディップ・ホールディングス	セレンディップ・ホールディングス	セレンディップ・フィナンシャルサービス

2022年11月21日～

2022年11月7日～



ir@serendip-c.com



## Contact Us



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11  
名古屋伊藤忠ビル



052-222-5306



<https://www.serendip-c.com/>



## 本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。